

市民アンケート調査の結果が出ました

平成20年度に実施した「市民アンケート調査」の集計結果をお知らせします。

この調査は、「市政全般における満足度」、「もっと充実してほしいと感じている施策」について、市民がどのように感じているかをとらえ、市政全般における市民満足度を把握するとともに、政策別に今後重点を置いていかなければならない事項を整理し、その結果を今後の市政運営に活用するために実施したものです。また、第3次総合計画の策定や都市計画マスタープランの改定にも生かしていきます。

調査にご協力いただいた皆さんに心から御礼申し上げます。

【調査の実施概要】

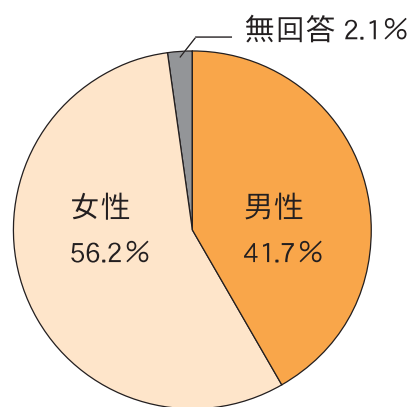
- ◎調査期間：平成21年1月5日(月)～23日(金)
- ◎調査対象：市内に在住で16歳以上の市民および外国人登録者から無作為に抽出した3,000人
- ◎回答件数：1,570件(回収率：52.3%)

★「もっと充実してほしいと感じている施策」とは…

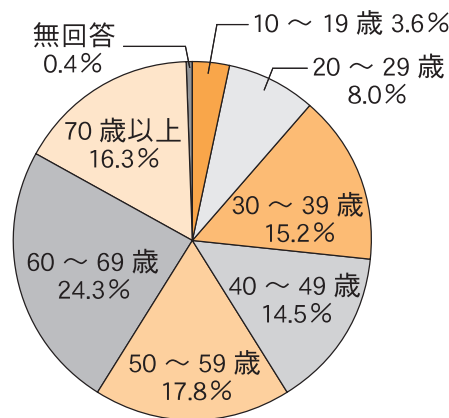
市は現在、「第2次総合計画(計画期間2001年～2010年)」に基づき、「あたたかみのあるまち」を実現するために37の政策分野を推進していますが、これらの政策分野は合計165の施策で構成されています。今回の調査では、さらに充実してほしいと感じている施策についてお聞きしました(複数回答可)。

(1) 回答者の構成

① 性別

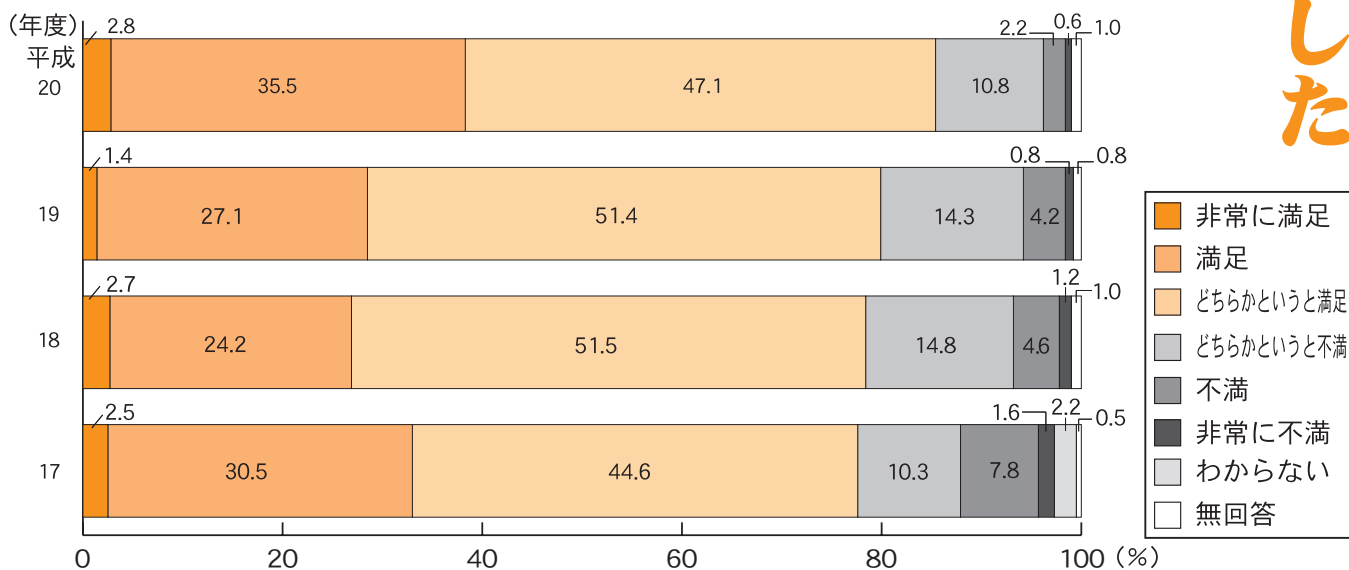


② 年齢



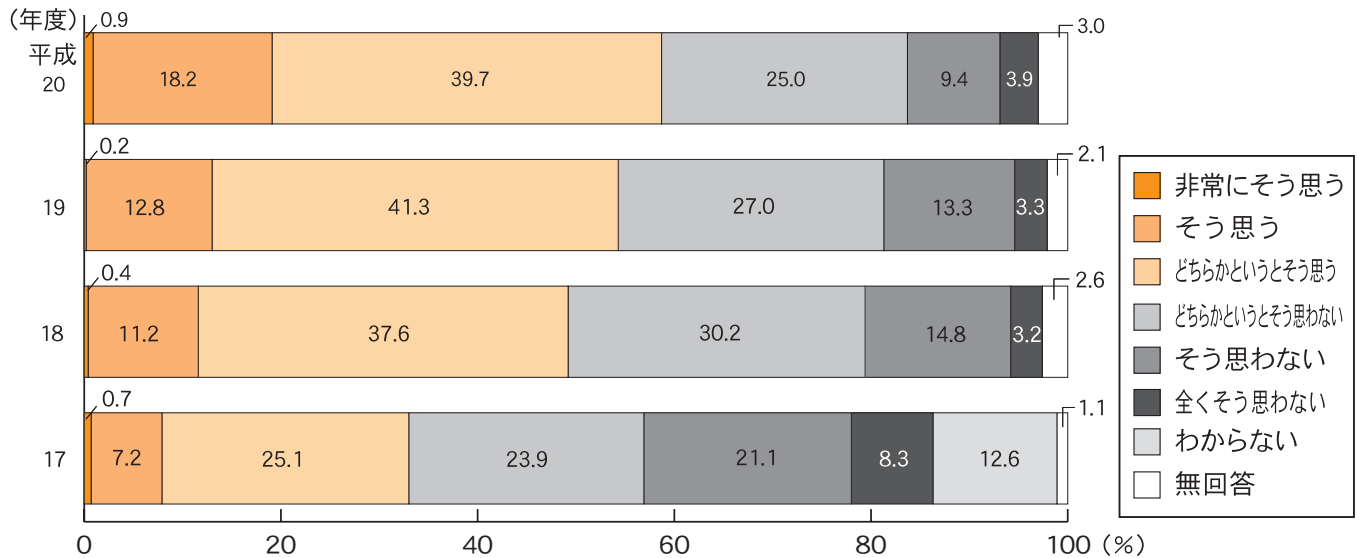
(2) 市政全般における満足度

① 牛久市の住み心地は？



○「非常に満足」「満足」「やや満足」を合計すると、全体の85.4%の市民が牛久市の住み心地に満足していると感じている状況であり、これは昨年度と比較して5.5ポイントの増加となっています。特に、「満足」が昨年度比8.4ポイントの増加となっています。

②牛久市の行政サービス水準は、納めた税金に見合っていると思いますか？



○「非常にそう思う」「そう思う」「どちらかというと思う」を合計すると58.8%となり、全体の約6割の市民が税金に見合うサービスがされていると感じている状況です。これは昨年度と比較して4.5ポイントの増加となっています。

(3) 「もっと充実してほしい」と感じている施策は？

○もっと充実してほしいと感じている施策ベスト10(施策数：165) ※()内は平成19年度の順位。

順位※	政策分野	施策名称	件数
1(1)	安全・安心	夜道を明るくする(防犯灯など)	1,159
2(2)	安全・安心	安全な道路環境をつくる(カーブミラーなど)	1,032
3(3)	環境保全	霞ヶ浦や牛久沼の水質を良好にする	1,018
4(4)	環境保全	良好な緑地や水辺環境を将来に残す	993
5(6)	福祉	ひとり暮らし等で支援が必要な高齢者が在宅で自立した生活を送るために必要な福祉サービスを提供する(緊急通報システムなど)	903
6(5)	環境保全	市民のごみの削減や資源化により効率的に収集し処分する	860
7(10)	生活空間整備	JR 常磐線の利便性と快適性を高める(JR への要望活動など)	826
8(11)	地域経済	女性、高齢者、障害者の雇用機会を拡大する	800
9(8)	福祉	高齢者の生きがいや障害者の積極的な社会参加の体制をつくる(福祉センターなど)	791
10(9)	地域経済	地産地消の割合を高める(公共施設への直売所の開設、うしく河童米の販売促進、学校給食へ食材の提供、食材の加工など)	784

○上位10項目のうち、9つの項目が昨年に引き続きベスト10入りしており、安全・安心な生活を確保するための施策、環境の保全を求める意見が上位を占めています。また、常磐線の利便性・快適性向上や、女性、高齢者、障害者の雇用機会拡大を求める意見が順位を上げています。

この調査の結果については、設問ごとに男女別、年代別、地域別に分けて分類し、詳細な傾向をつかむことができるように取りまとめました。また、この調査で寄せられた多くの自由意見についても、政策別に分類し、市政の運営に役立つように取りまとめています。

なお、端数処理をしているため、割合の合計が必ずしも100%になるとは限りませんので、ご了承ください。※詳細は、市政策秘書課ホームページおよび情報公開統合窓口で公表していますので、ご覧ください。

問い合わせ 市政策秘書課 ☎内線3201

ホームページ http://www.city.ushiku.ibaraki.jp/section/hisyo/manzoku/ma_index.htm